



ながの村

【2008年4月15日発行】

〒729-1360
広島県神石郡神石高原町永野2549の1
TEL(0847)8610215
FAX(0847)8610045

4

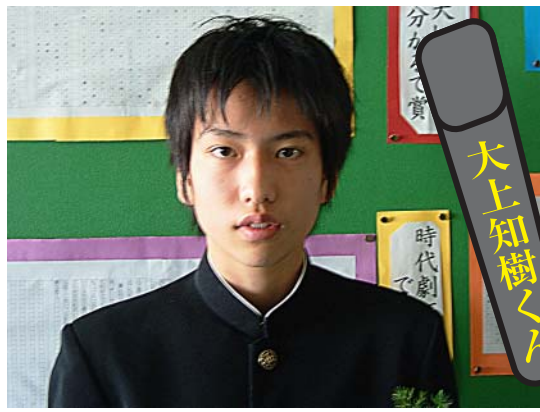
2008
APRIL/卯月

H.P/ www.naganomura.com
e-mail naganomura@image.ocn.ne.jp



ご卒業 おめでとう ございます!

3月11日 第39回神石高原町立神石中学校の卒業式が行われ、ながの村では2名の若者が巣立ちました。



大上知樹くん

男子8名、女子12名の卒業生のなか、堂々と渡辺校長から卒業証書を受け取っていました。前途ある将来に餞を贈ります。



田邊寛恵さん

花面公園の しだれ桜

4月の中旬頃からだんだん色づきはじめ、終わり頃には満開になる花面公園のしだれ桜。今年も順調につぼみがふくらんできています。毎年花面公園を整美していますので、公園も桜も美しく、お花見するにはいい環境です。ぜひお越しください。



人物紹介

Vol.35



和田幾子さん(80歳) 昭和2年9月27日生まれ

和田宅を訪れた時、開口一番「私も長生きさせてもらったな、みなさんに感謝しなければ」と言われました。それは5歳の時79歳の実祖母が亡くなり子ども心に、「お婆ちゃんも長生きしちゃうかな」と思った事があります。あのころ80歳といえども、もうそういう年齢になったんだとしみじみと思います。実母は98歳まで天寿をまっとうしました。

歳になっていきます。国民学校高等科を卒業し、三次市十日市の三次技芸女学校で寄宿舎に入って和裁の勉強をし、昭和18年に卒業しました。結婚するまで家事手伝いをし、縁あって永野の和田家に嫁にきたのが24歳、主人は32歳の時でした。主人とは15年間の結婚生活で、4人の子どもが生まれ、長男が中学2年時、46歳で主人が亡くなりました。長男は体が大きかったので田畑を耕耘機でよく耕してくれ、家族みんなにも助けられ農業に精を出していました。たばこ3反、こんにゃく3反、冬は大麥、小麦などを、積雪の時は稲藁で縄を編んでいました。早朝5時から起きて仕事をし、苦勞を苦勞と思わず頑張っていました。「朝は朝星、夜は夜星」という言葉があったがまさに言葉通りだったかもしれない。休む暇もなく一日一日生活のために辛抱しました。現在は孫が9人でお盆、正月は、賑やかで毎年楽しみにしています。

趣味は花を育てることでパンジー、サルビアなどはもちろん、冬は、ジャコバサボテンなど室内で育てるのが楽しみです。さざんかの会や、サロン、老人会など呼んでももらえるところは出ていって楽しい日々を過ごしています。健康に気おつけながら、少しでも家族の役に立つことがあれば役に立ちたいと思っています。家族5人に囲まれ今は何もうことがないぐらい幸せです。

永野長寿会の活動、 県内老人クラブの 顕著な活動事例で掲載

平成19年度広島県老人クラブ連合会の活動報告の中で、永野長寿会のグラウンドゴルフ大会が、県内の活動の内22件の顕著な事例として報告されました。現在、広島県内の老人クラブ数は2,564件、会員数は153,908人が登録されています。



平成19年度最後の永野長寿会役員会

【報告の内容】

●目的

健康づくりと交流により親睦をはかる。

●対象者

会員 地域住民
研修生(外国人)

●実施場所

ながの村グラウンド
町内施設2〜3ヶ所

●活動内容

地域内の廃校校舎が簡易宿泊センターになり、その施設が地域住民の交流の拠点になっている。4年前から外国人(ほぼ中国人)が研修でながの村を訪れるようになり国際交流としてグラウンドゴルフを実施しています。

梅味噌ドレッシング

生野菜・温野菜・冷やっこ・湯豆腐など何にでも合うドレッシングです。

材料 味噌…1kg 氷砂糖…1kg 青梅…1kg

- 作り方**
- ① 容器に青梅を入れます。
 - ② その上に氷砂糖を入れます。
 - ③ その上で味噌を入れ蓋をします。
 - ④ 常温で半年間ねかせます。梅からエキスが出て、味噌が液体になります。よく混ぜて、ドレッシングとして使用して下さい。

手作りこんにやく

材料 こんにやくいも…1kg：水4L 凝固剤…15g～20g
※そばがらの灰汁を使うと食感も良くなめらかで臭みが少なくなります。

- 作り方**
- ① こんにやくいもの泥を落としてきれいに洗います。
 - ② 芽をくり抜きます。
 - ③ 適当な大きさに切ります。(同じ位の大きさ)
 - ④ 箸が“ス～”と通る位に茹がきます。
 - ⑤ 茹でたこんにやく芋の皮を剥きます。
 - ⑥ 水4Lを沸かし、こんにやくいもを少しずつ数回に分けてミキサーで碎きます。
 - ⑦ 大きな器(たらい等)に移してこねます。こねる程きめが細かいこんにやくになります。
 - ⑧ アク汁の中に、凝固剤・水酸化カルシウム・炭酸化カルシウムを入れて更にアク汁を入れ、細かくこねます。
 - ⑨ 表面を平らにし、手につかない程度になったら落ち着かせます。
 - ⑩ 適当な大きさに丸めてお湯の中に入れ、20～30分煮ます。
 - ⑪ 火を止めてそのまま冷まします。

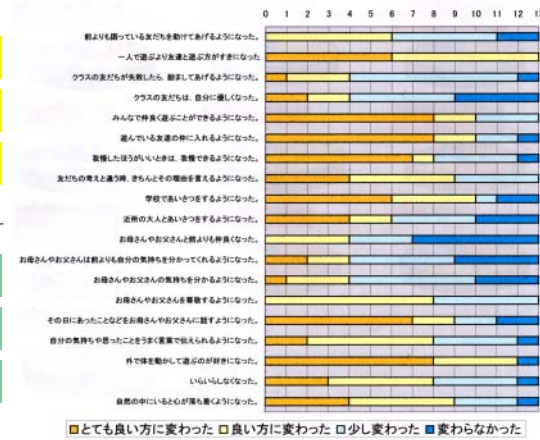
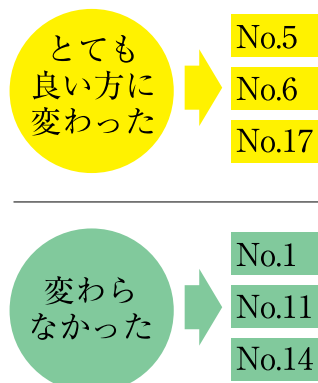
さざんかの会 No.6 我が家の一品!!

一品料理の受付は FAX 0847-86-0045 ながの村まで



体験活動アンケートH19					
No.	内容	とても良い方に変わった	良い方に変わった	少し変わった	変わらなかった
1	前よりも困っている友だちを助けてあげることができた。	0	6	5	2
2	一人で遊ぶより友達と遊ぶのが好きになった。	6	7	0	0
3	クラスの友だちが失敗したら、励ましてあげることができた。	1	3	8	1
4	クラスの友だちは、自分に優しくなった。	2	2	5	4
5	みんなで仲良く遊ぶことができるようになった。	8	2	3	0
6	遊んでいる友達の中に入れてくれるようになった。	8	2	2	1
7	我慢したほうが良いときは、我慢できるようになった。	7	1	4	1
8	友だちの考えと違う時、きちんとその理由を言えるようになった。	4	5	4	0
9	学校であいさつをするようになった。	6	4	1	2
10	近所の大人とあいさつをするようになった。	4	2	4	3
11	お母さんやお父さんと前よりも仲良くなった。	0	4	3	6
12	お母さんやお父さんは前よりも自分の気持ちを分かってくれるようになった。	2	2	5	4
13	お母さんやお父さんの気持ちを分かるようになった。	1	3	6	3
14	お母さんやお父さんを尊敬するようになった。	0	8	5	0
15	その日にあったことなどをお母さんやお父さんに話すようになった。	7	2	2	2
16	自分の気持ちや思ったことをうまく言葉で伝えられるようになった。	2	6	4	1
17	外で体を動かして遊ぶのが好きになった。	8	4	0	1
18	いろいろなことに挑戦するようになった。	3	5	4	1
19	自然の中にいると心が落ち着くようになった。	4	5	3	1

体験学習により「みんなが仲良く遊ぶことができるようになった。」「遊んでいる友だちの仲に入れてくれるようになった。」「前よりも大きく変わった。」などが体験学習の事柄がアンケートより伺えます。また「前よりも困っている友だちを助けてあげられるようになった。」「お母さんやお父さんや友達と仲良く遊ぶようになった。」など変化がなかったようです。



会員様より うれしいお便り

市岡忠義様よりお便りいただきました。ご紹介致します。

「早春賦」 吉丸一昌作詞

春は名のみの 風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど 時にあらずと 声も立てず 時にあらずと 声もたてず

畑中の道を行くと、この歌がおのずと心に浮かびます。故郷をあとにして六十有余年、今大都市と離れた郊外と呼ばれる一角に住んでいます。

夕見し夢は 田植えの終わりたる 門田の上に乱舞の蜩

少年の頃、我が家で見えた風景が今でも夢の中に出てきます。懐かしいふるさと永野は今「ながの村」となって輝いています。この事実をこよなくうれしく思い、益々の発展を願ってやみません。

感傷といえれば感傷、郷愁といえれば郷愁ですが、私にとって単なる感傷ではありません。「ながの村」のたより、その活動の中身を通して在りし日の気持ちを新たに、ふるさとの人々と心の中でつながってたいのです。それが我が身の生きる力となるのです。色紙はふるさと「ながの村」に贈る私のささやかな応援歌です。ご笑納くださいば幸いです。(今古代文字に凝っています)

平成20年3月27日

市川様は妻と長男夫婦の4人家族で現在愛知県一宮市にお住まいの85歳出身は永野宝光寺の近くです。(現北前班)

今後ふるさとながの村がずっと輝いて欲しいと直筆の色紙を贈ってくださいました。(写真)



子ども育成会 20年度活動計画

- 8月10日 再生資源回収
- 11月23日頃 みかん狩り
- 12月21日 クリスマス会
- 2月8日 スキー教室

香典返し

金倉輝夫様

ありがとうございます。

広報誌「ながの村」編集役員紹介

【委員長】

赤木太郎

小林千家

横山幸士

横溝裕治

大場祥征

土屋洋三

毎月3日頃ながの村で編集委員会を行っております。